

2 シェイクアウト訓練

～ あいち総ぐるみシェイクアウト訓練 ～

(2025年5月23日記者発表済み)

県民総ぐるみ防災訓練の一つとして、南海トラフ地震等の大地震発生の際に、県民それぞれがその場に応じて自らの身の安全を確保する訓練（シェイクアウト訓練）を下記のとおり実施します。訓練では、地震発生時に参加者自らが身の安全を確保する行動を習得するとともに、県民の防災・減災に関する意識の向上を図ります。

記

(1) 実施日時

2025年9月1日（月）正午から1分間を基本とします。

※参加表明を行い、独自に設定した日時で実施することも可能です。

（例：11月5日（水）の津波防災の日、別日に学校等で行う防災訓練 等

(2) 対象者

県内全域の県民、企業、学校、グループ等（県外の方も可）

(3) 訓練内容

時報を合図に地震から身の安全を守る行動を約1分間実施します。

◇自分を守る1 - 2 - 3



- ① しゃんしゃんをひくく
- ② あたまをまもり
- ③ じっとする

(4) 参加方法

2025年8月31日（日）までに、申込みWebサイトから必要項目を入力又はFAXにより訓練への参加表明をしてください。

申込サイト：あいちシェイクアウト訓練Webページ

<https://aichi0901.pref.aichi.jp/>

FAX番号：052-954-6911（愛知県防災安全局）

FAXで参加表明する場合の必要記載事項（団体名、個人名の記載は任意）

(1) 参加人数

(2) 訓練実施日

なお、御記入頂いた情報は、参加状況の把握以外に使用しません。

(5) 同時募集

今回のシェイクアウト訓練に参加された方の写真や感想を募集します。応募していただいた写真と感想につきましては、申込みWebサイトにて掲載させていただきます。詳しくは申込みWebサイトを御覧ください。

応募資格：本訓練参加の個人又は団体

応募期間：訓練を実施した日から2026年3月31日(火)まで(当日必着)

(6) 協 力

愛知工業大学（地域防災研究センター）、あいぼう会^{※1}、
株式会社エーアイシステムサービス^{※2}、日本シェイクアウト提唱会議^{※3}

(参考1) 参加表明者数の推移

年度	受付期間	実績(人)	増加数(人)	前年比
2013	7.16～8.31	261,702	—	—
2014	6.25～8.31	337,536	75,834	29%増
2015	6.29～8.31	348,698	11,162	3%増
2016	5.16～8.31	472,073	123,375	35%増
2017	5.15～8.31	578,183	106,110	22%増
2018	5.14～8.31	760,828	182,645	32%増
2019	5.28～8.31	856,357	95,529	13%増
2020	6.29～8.31	544,566	▲311,791	36%減
2021	5.17～8.31	903,990	359,424	66%増
2022	5.16～8.31	807,484	▲96,506	11%減
2023	5.23～8.31	1,202,365	394,881	49%増
2024	5.1～8.31	1,238,520	36,155	3%増

(参考2) 協力団体について

(※1) あいぼう会

企業の災害に対する被害の軽減、復旧の迅速化をめざすことを目的として、
2007年12月に設立。正式名称は「企業防災ネットワーク地震に強いものづくり地域の会」。会員は中部経済連合会や中部電力株式会社など約60社・団体。

(※2) 株式会社エーアイシステムサービス

あいぼう会会員の愛知工業大学発ITベンチャー企業。

(※3) 日本シェイクアウト提唱会議

シェイクアウト訓練を効果的に実施するため、2012年1月に設立された普及母体。
正式名称は「効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議」。

(7) 取材に際してのお願い

ア 取材時間について

シェイクアウト訓練終了後から5分程度

別紙5の【取材案内】訓練当日の知事的主要スケジュールを御確認ください。

イ 取材場所について

愛知県自治センター6階 災害情報センター室

ウ 訓練会場内の取材については、報道機関であることが分かるように自社の腕章等を必ず着用するとともに、係員の指示に従ってください。